

IRIS+BV



(エスワンタイハウ®+イリノテカン+アバスチン®)

◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 1日目：1時間55分

使用する薬	外観	点滴時間	1日目	15日目
吐き気止め アロキシ®、デカドロン®		15分	●	●
アバスチン® 5mg/kg		10分	●	●
イリノテカン 100mg/m ²		90分	●	●

◆ 内服薬

お薬の名前	飲み方、スケジュール
エスワンタイハウ®OD錠  20mg	1回 40mg/m ² 、1日2回 朝・夕食後 14日間内服し、14日間休薬
 25mg	

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。

◆ スケジュール

28日間を1サイクルとして、以下の治療を繰り返します。

アバスチン[®]、イリノテカン：1・15日目に点滴

エスワンタイホウ[®] 14日間内服

14日間休薬

1サイクル：28日間

◆ 飲むときの注意

- 医師より特別に指示がなければ、1日目の夕分から開始します。薬局から薬が受け取れない場合などは、2日目の朝分から開始します。
- この薬は、患者さんの疾患、体の大きさによって投与量が決められています。処方された**用法用量、スケジュールを必ず守ってください**。
- 空腹時に飲むと、この薬の効果が弱まってしまうため、**食後に飲んでください**。

◆ 飲み忘れたとき

- **飲み忘れたときは、その分は飲まないでください**。次のタイミングから通常のスケジュールどおりに再開し、決して2回分を飲まないでください。

◆ 過剰に飲んでしまったとき、間違えたとき

- 多く飲んでしまった、スケジュールを間違えた場合などは、すぐに病院へご連絡ください。

◆ 飲み合わせについて

- エスワнтаイホウ[®]は、下記の薬と**一緒に使用してはいけません**。一緒に使用した場合、白血球減少、下痢、口内炎などの副作用が強くあらわれるおそれがあります。

商品名（先発品名）	一般名
5-FU [®]	フルオロウラシル
フルツロン [®]	ドキシフルリジン
ユーエフティー [®]	テガフル・ウラシル
ゼローダ [®]	カペシタピン
フトラフル [®]	テガフル
アンコチル [®]	フルシトシン

- エスワнтаイホウ[®]は、**上記以外にも、併用に注意が必要な薬があります**。薬局やドラッグストアで購入した薬も含め、担当の医師や薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう。

◆ 治療日誌について

- 副作用の症状を把握したり飲み忘れがないように、治療日誌をつけましょう。

◆ 薬の名前について

- このパンフレットには、当院で使用しているお薬の名前が書かれています。調剤薬局で受け取ったお薬の名前と異なる場合があるため、お薬の名前を薬局でご確認ください。

◆ 主な副作用

白血球減少

白血球が減少すると免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなります。

治療開始1～2週間後に白血球の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

うがい・手洗いなどの感染予防を心がけましょう。

37.5度を超える発熱時、医師からあらかじめ処方された薬がない方は、病院へご連絡ください。

赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2～4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血することがあります。

血小板減少

血液が固まりにくくなり、歯茎からの出血や鼻血が出やすくなります。治療開始1～2週間後に血小板の値が最も低くなり、その後1～2週間かけて回復します。

転倒やケガに注意してください。

必要に応じて、輸血することがあります。

【血液検査について】

副作用の確認のために、定期的な血液検査を行います。

◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目が起きやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

イリノテカンによる腹痛、発汗

下痢、お腹が痛くなる、汗がたくさん出る

アトロピンという薬を点滴して対応することがあります。

◆ 点滴終了後～1週間頃

吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。
それでも症状がある場合は、吐き気止めを追加で使用することがあります。水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。

便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはることがあります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、下剤を使用します。

発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

◆ 1～2週間頃

下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。

口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

歯みがきやうがいで口の中を清潔に保ち、乾燥を防ぐことが大切です。また**うがい薬や塗り薬を使用**することがあります。

がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛みがある場合は、病院へご連絡ください。

◆ 2～3週間頃

脱毛

薬の種類によって抜けやすさは異なりますが、1～2か月後にはかなり目立つようになります。

髪の毛以外（まゆ毛、まつ毛など）全身の体毛も同様に抜けます。治療が終了すると、少しずつですが生えてきます。

◆ 蓄積性の副作用

流涙

涙が止まらない、充血する、目がかすんで見えることがあります。ひどくなると結膜炎、角膜炎になったり、涙が流れる管がつまることがあります。

流水で目を洗うことで症状が和らぐことがあります。また目薬を使用したり、眼科を受診して頂くことがあります。

色素沈着

皮膚に日焼けのようなしみができる、爪が黒ずむ

味覚障害

味を感じにくくなる、塩味を強く感じる、金属味がする、まずく感じるなど味覚に異常が出る場合があります。

◆ 検査でわかる副作用

高血圧

血圧が高くなることがあるため、自宅で定期的に血圧を測定し記録し、診察時に医師に記録を見せましょう。

血圧を下げる薬を使用することがあります。

自宅での血圧が180/120mmHgを超える、頭痛や胸の痛みなどの他の症状を伴うときは、病院へご連絡ください。

タンパク尿

尿にタンパクが出ることもあるため、定期的な尿検査を行います。

◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

血栓塞栓症（血のかたまりが脳、心臓、肺などの血管につまる）

手足に力が入らない、ろれつが回らない、めまい、しめつ

けられるような胸痛、息苦しい、片方の足に急激な痛みや腫れがある

出血

青あざができる、鼻血、歯茎から出血しやすいなどの症状が出ることがあります。

血痰がある、下血がある場合は病院へ連絡してください。

消化管穿孔

今までに経験のないひどい腹痛

◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない
下痢が止まらない
37.5℃以上の発熱が続いている
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター
ナースステーション

夜間帯・休診日
など左記以外の時間

各診療科の当直医

◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師